

2022年度 日本工学院八王子専門学校											
プロダクトデザイン科											
卒業制作											
対象	3 年次	開講期	後期	区分	必	種別	実習	時間数	420	単位	14
担当教員	大山敏弘、伊藤洋平、木村剛、小飼里香子			実務経験	有	職種	プロダクトデザイナー、家具作家、雑貨プロデューサー				
授業概要											
各自またはゼミのテーマに基づき 3 年間のまとめとしての作品を制作する。											
到達目標											
デザイナーとしてキャリアをスタートさせるために必要な、調査力、考察力、企画力、プレゼンテーション力、モノを作るための技術力や表現力、そしてこれら全体を含むプロジェクトを管理(マネージメント)する力を身につけることも目標とする。この中のどれかひとつが長けているのではなく、あくまでバランス感覚に優れたデザイナーになるため、すべての工程において成果を出すよう、取り組むこと。											
授業方法											
これまでの実習科目の進め方とは違って、ゼミの担当教員と学生の「面談」が授業の主体となる。学生は、毎回担当教員に、卒業制作作品の進捗状況および今後の計画について報告し、それに対して教員は適宜必要なアドバイスを実施する。											
成績評価方法											
課題完成度50%提出課題完成度を総合的に評価する。リサーチ20%制作準備と過程を評価する。相談検証20%制作過程で適切なディレクション受答ができたか評価する。プレゼン10%制作物の発表方法、内容について評価する。											
履修上の注意											
各回ごとに必要な資料をアナログまたはデジタルデータで準備すること。調査、取材などの日程が授業と重複する場合には、実施前日までに担当教員の許可を得ること。授業時限数の 4 分の 3 以上出席しない者は課題提出とプレゼンテーションの実施ならびに評価を受けることができない。											
教科書教材											
参考書・参考資料等は、授業中に指示する。											
回数	授業計画										
第1回	企画アイデア提案										
第2回	企画調査										
第3回	企画の立案										

2022年度 日本工学院八王子専門学校	
プロダクトデザイン科	
卒業制作	
第4回	企画プレゼンテーション
第5回	β 版制作作業①
第6回	β 版制作作業②
第7回	中間プレゼンテーション
第8回	制作作業①
第9回	制作作業②
第10回	制作作業③
第11回	制作作業④
第12回	制作作業⑤
第13回	制作作業⑥
第14回	制作作業⑦
第15回	最終プレゼンテーション(講評会)